

地域防災力の現状

- 自治会アンケートから見たこと -

平成21年9月27日

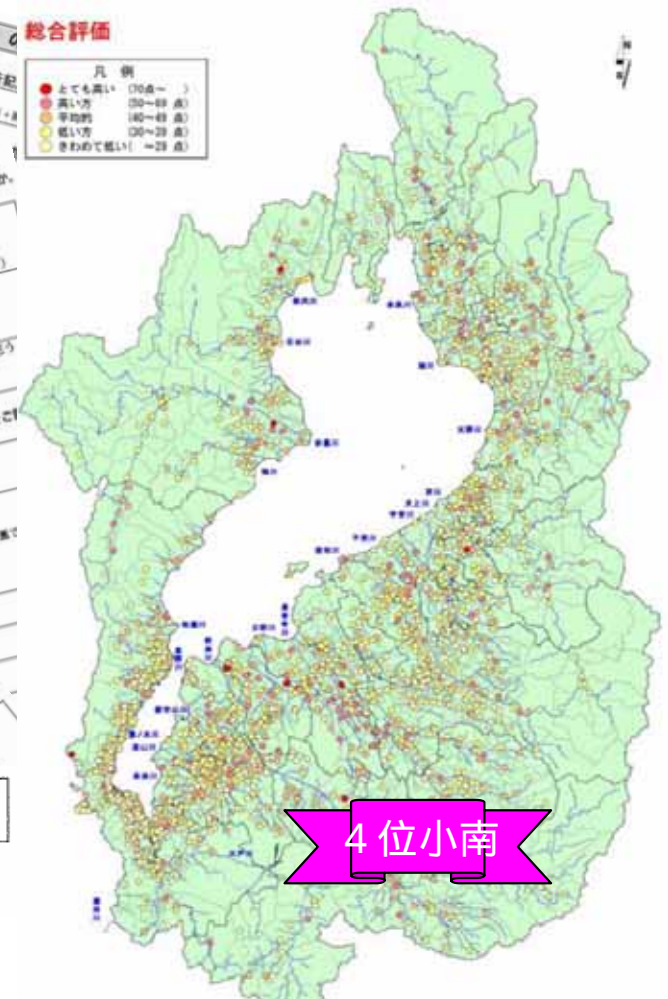
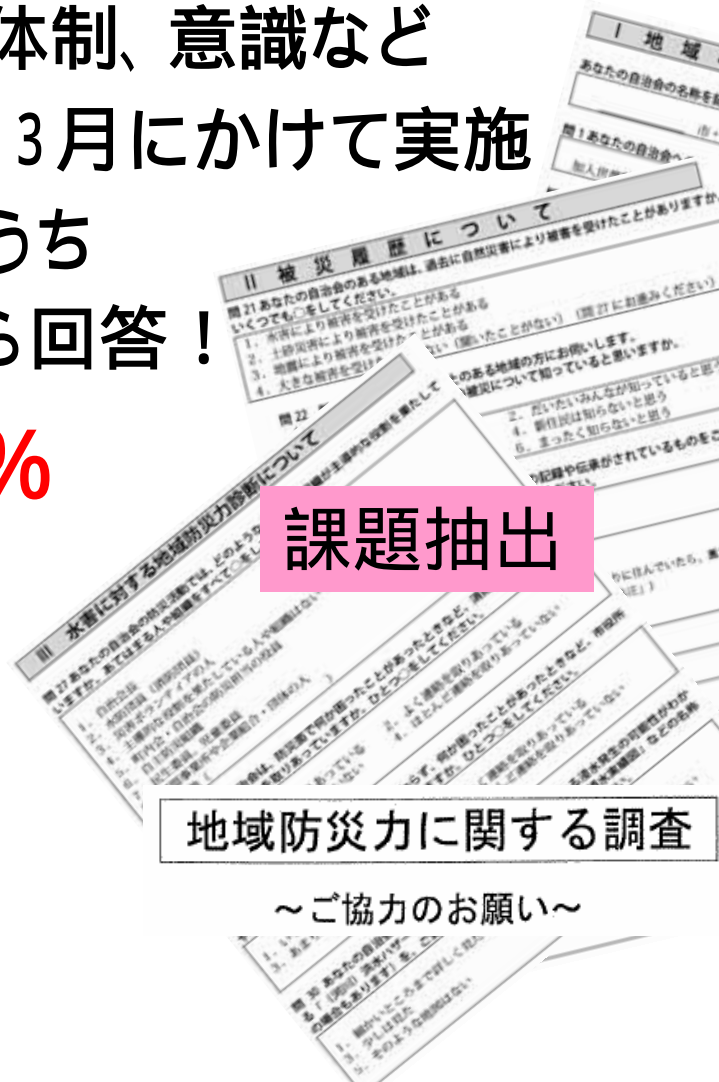
滋賀県流域治水政策室長 西嶋照毅

県内の全自治会・区を対象とした 地域防災力アンケート

- 地域防災力とは、自助、共助など、災害から命を守るための地域の組織力、体制、意識など
- 平成20年1月～3月にかけて実施
- 3211自治会のうち
2484自治会から回答！

回答率77%

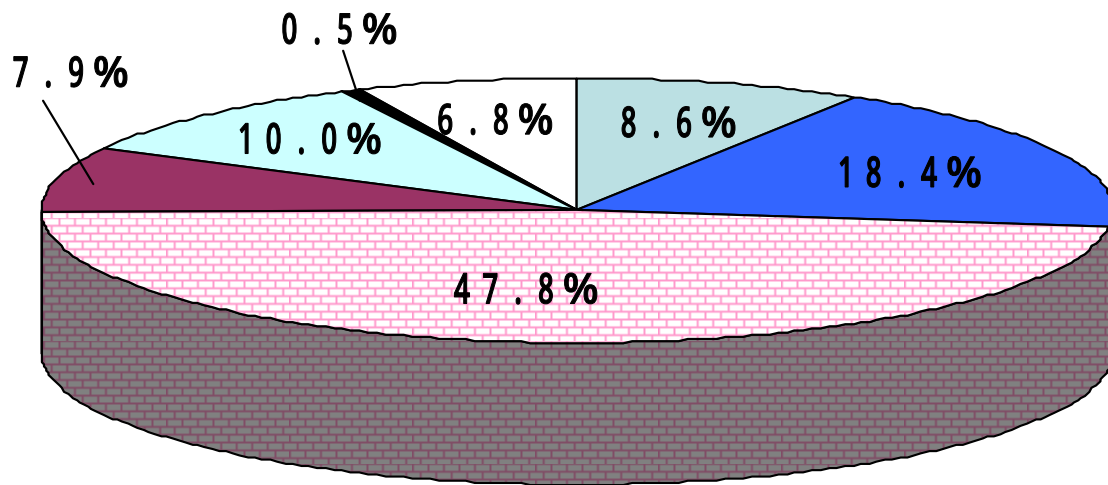
課題抽出



被災経験が次の世代に伝わっていない？

～ 県内全自治会を対象とした地域防災力アンケート～

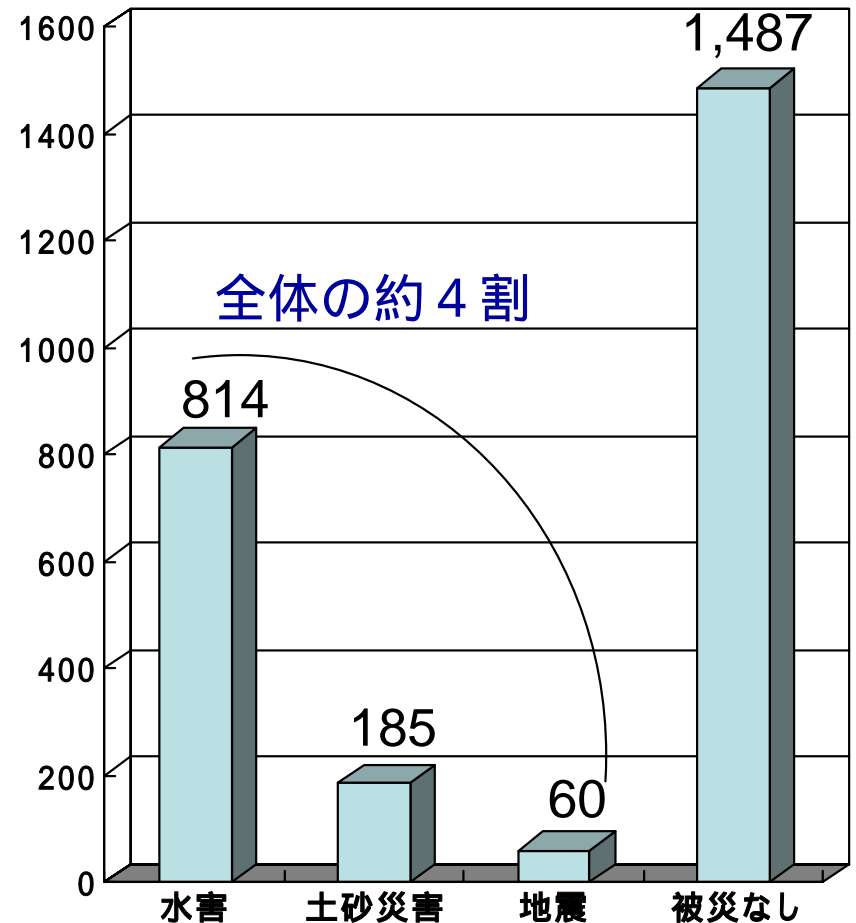
被災経験のある自治会の約半分では地域の若い世代の人が過去の被災経験を知らない！？



- みんな知っている
- 若い世代は知らない
- ほとんど知らない
- 無回答
- 大体みんな知っている
- 新住民は知らない
- まったく知らない

問：被災経験のある地域の皆さんは過去の被災経験について知っていると思いますか。

(自治会数)



問：自然災害を受けたことがありますか。

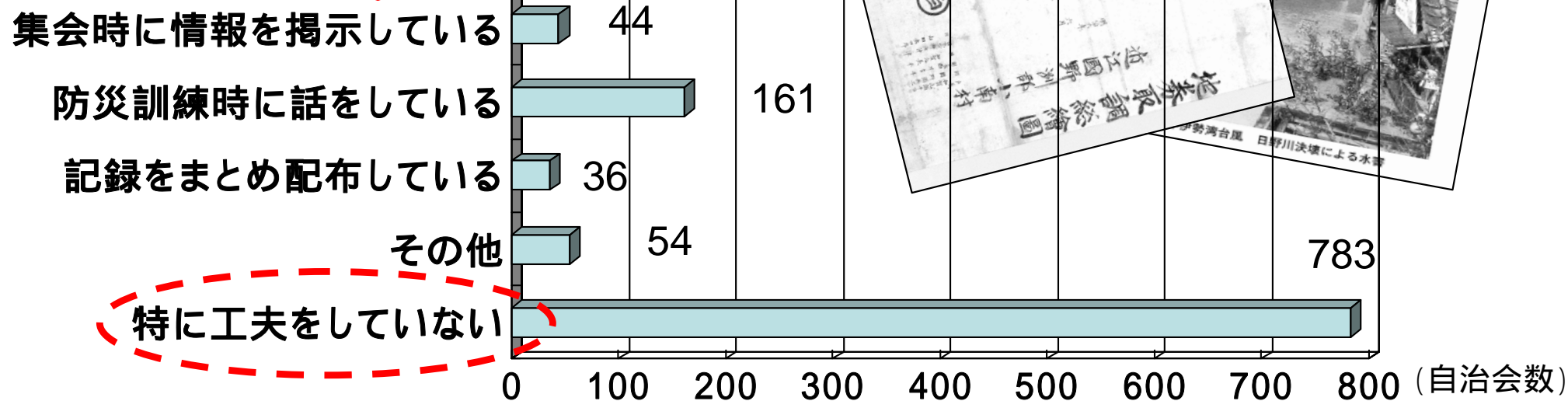
被災体験を伝える工夫が必要では？

～県内全自治会を対象とした地域防災力アンケート～

全体の約7割以上の自治会で被災の歴史や記憶が伝承されていない！

被災経験を伝えている約7割の自治会では伝承の工夫がなされていない！

語り伝えだけでは忘れる・・・？

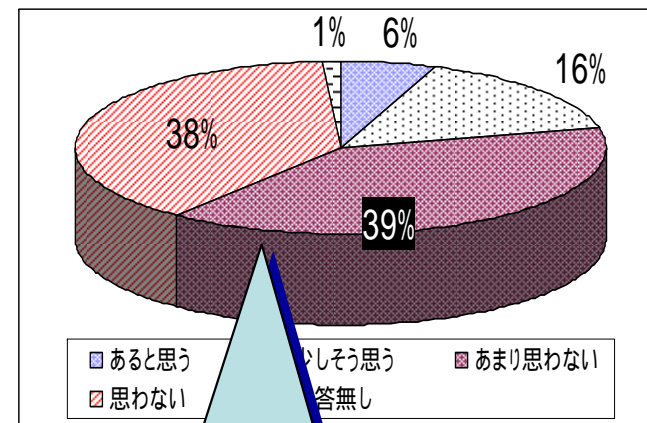
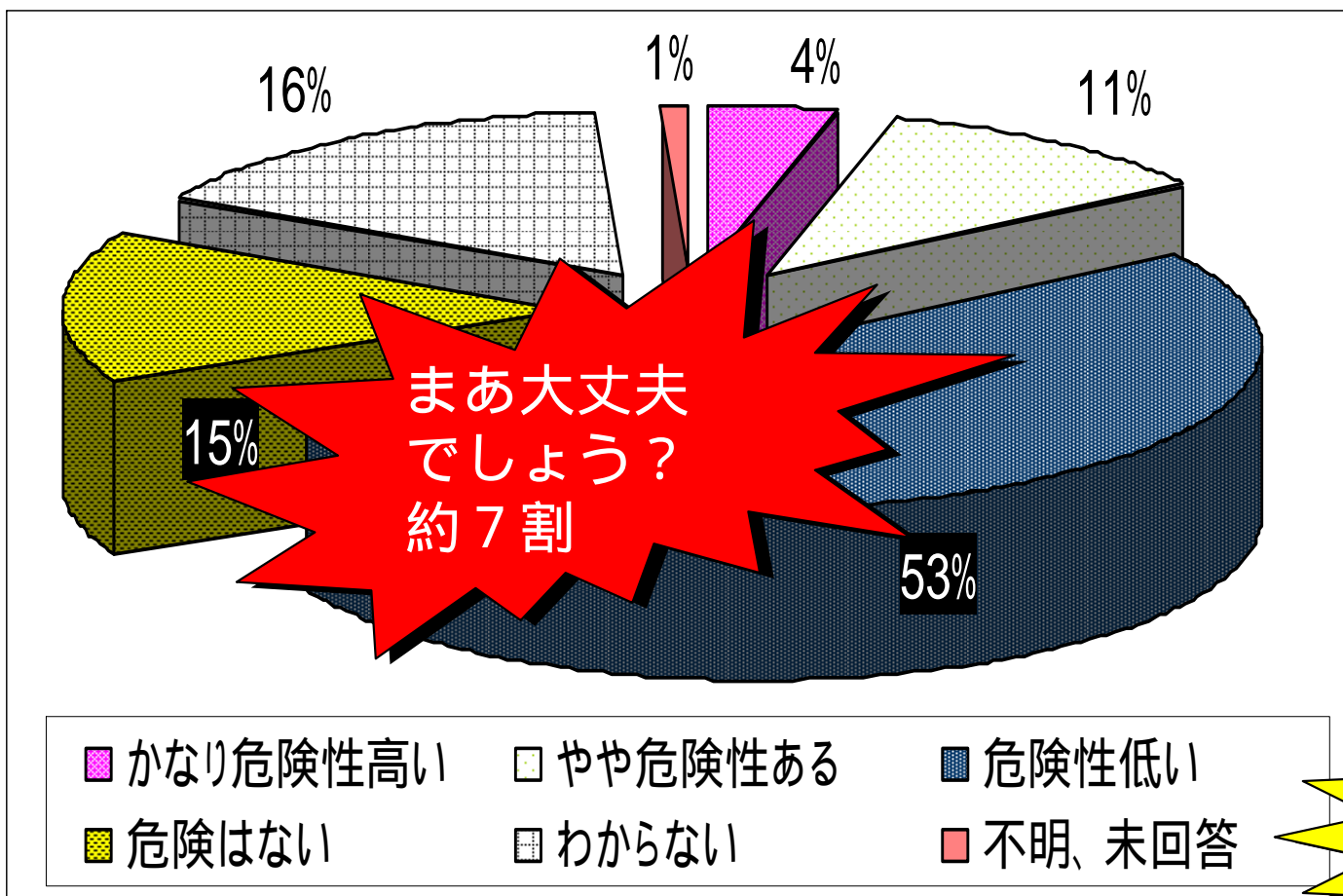


問：地域のみなさんが被災情報を共有できる工夫がされていますか。

近い将来、豪雨災害は大丈夫なの？

～ 県内全自治会を対象とした地域防災力アンケート～

約7割の自治会(長)で水害来襲の意識が低い！



H21.1県政モニター
アンケートでも
同様の結果
約8割！！

反動！
水防訓練は8割の自治会
で実施されてない

問:今後10年以内に床上浸水のような大きな水害が発生する危険性はあると思いますか？